

&lt;報道関係各位&gt;

一般社団法人いきもの共生事業推進協議会

「自然と共生する世界」の実現にビジネスから貢献  
**15施設を第4回「いきもの共生事業所<sup>®</sup>※」に認証**

イオンモール、三菱地所レジデンス、横浜ゴム、らが取得

一般社団法人いきもの共生事業推進協議会が運営する「いきもの共生事業所<sup>®</sup>認証(通称: ABINC: エイビ  
 ンク)認証制度」では、このたび、**生物多様性保全に取り組む工場、オフィスビル、商業施設、集合住宅等の  
 10施設を新たに「いきもの共生事業所<sup>®</sup>」として認証いたしました。**また今回初めての更新申請(認証期間3  
 年)によって、**5施設が認証を更新しました。**今回の認証を含め、**認証件数は45件**となりました。

本認証制度は、一般社団法人企業と生物多様性イニシアティブ(JBIB<sup>※</sup>)が開発した「いきもの共生事業  
 所<sup>®</sup>推進ガイドライン」を評価基準とした第三者認証であり、今回が第4回目の認証となります。本ガイドライン  
 は、生物多様性国家戦略 2012-2020において、事業者が生物多様性に配慮した社有地の管理をすすめる  
 ための方策として紹介されており、多くの企業がこれを参考に取り組みを始めています。

今後も、工場等を評価する「既存版」、都市再開発やショッピングセンター向けの「都市・SC(ショッピングセ  
 ンター)版」、集合住宅向けの「集合住宅版」と幅広い施設用途に合わせた第三者認証制度を実施してまいり  
 ます。このたび申請され、認証または認証更新された施設は以下の通りです。(認証番号順)

認証(新規)施設 名称	主用途	事業者	施設住所
横浜ゴム株式会社 平塚製造所	工場	横浜ゴム	神奈川県平塚市
イオンモール長久手	SC	イオンモール	愛知県長久手市
ザ・パークハウス 国分寺四季の森	集合住宅	三菱地所レジデンス 東京建物/大栄不動産	東京都国分寺市
(仮称)船橋市前原西6丁目計画	集合住宅	三菱地所レジデンス	千葉県船橋市
ザ・パークハウス オイコス 三国ヶ丘	集合住宅	三菱地所レジデンス NIPPO	大阪府堺市
(仮称)横浜市青葉区あざみ野1丁目計画	集合住宅	三菱地所レジデンス	神奈川県横浜市
(仮称)内幸町二丁目プロジェクト	オフィス 他	日本政策投資銀行 ケネディクス/東急不動産	東京都千代田区
(仮称)広島大学跡地「知の拠点」 再生プロジェクト分譲マンション計画	集合住宅	三菱地所レジデンス/三井 不動産レジデンシャル/菱 重プロパティーズ/トータテ 都市開発/広島電鉄	広島県広島市
(仮称)プレミスト湘南辻堂	集合住宅	大和ハウス工業/神奈川中 央交通/長谷エコーポレー ション	神奈川県藤沢市
ドレッセ中央林間	集合住宅	東京急行電鉄/大成有楽 不動産/相鉄不動産 総合地所	神奈川県大和市

認証(更新)施設 名称	主用途	事業者	施設住所
MARK IS みなとみらい	SC	三菱地所/三菱地所リテールマネジメント/エムエムディベロップメント	神奈川県横浜市
三井住友海上 駿河台ビル/駿河台新館	オフィス	三井住友海上火災保険	東京都千代田区
イオンモール東員	SC	イオンモール	三重県員弁郡
横浜ビジネスパーク	オフィス	野村不動産	神奈川県横浜市
大手町タワー	オフィス 他	東京建物	東京都千代田区

※ いきもの共生事業所<sup>®</sup>はJBIBの登録商標です。

※ ※※ ビジネスによる生物多様性保全において先進的、積極的な取り組みを進める企業の集まりです。

認証書のロゴ



**ABINC**  
Association for Business Innovation  
in harmony with Nature and Community

一般社団法人いきもの共生事業推進協議会では、今回申請いただいた施設の取り組みを活用し、認証制度の進化に取り組みます。また、今後、ガイドライン及び認証制度の普及・啓発を担う人材の育成に力を入れ、さらに認証の適用範囲を、工場、物流施設、集合住宅、公共施設、等に拡大していくことによって、自然や地域共同体と共生する土地利用に取り組みやすい世界の実現に貢献して参ります。

#### 【一般社団法人いきもの共生事業推進協議会(ABINC)について】

生物多様性条約第10回締約国会議(CBD COP10)において採択された愛知目標および生物多様性戦略計画で掲げられた、2050年までの長期目標「自然と共生する世界」の実現と、2020年までの短期目標「生物多様性の損失を止めるために効果的かつ緊急な行動を実施する」の実現のために、ビジネスの貢献が求められています。当法人は、「自然と共生する世界」の実現にビジネスの貢献を推進するために、自然環境と地域共同体への負荷をできるだけ外部化しようとしてきた企業活動のベクトルを反転させ、志をともにする団体と協働して、いきものと人が共生できるしくみを「創造」し、科学的・技術的に「検証」し、「事業化」を推進することを目的として設立されました。

#### 【団体概要】

- 名称：一般社団法人いきもの共生事業推進協議会  
 [英文名: Association for Business Innovation in harmony with Nature and Community  
 =略称ABINC(エイビンク)]
- 設立：2013年12月25日 ■ 連絡先：[info@abinc.or.jp](mailto:info@abinc.or.jp) ■ ホームページ：<http://www.abinc.or.jp/>
- 理事：中静 透 (東北大学大学院生命科学研究科教授) <代表理事>  
 亀山 章 (公益財団法人日本自然保護協会理事長、東京農工大学名誉教授)  
 森本 幸裕 (京都学園大学教授、京都大学名誉教授)  
 黒田 大三郎(公益財団法人地球環境戦略研究機関シニアフェロー)  
 足立 直樹 (一般社団法人企業と生物多様性イニシアティブ事務局長)  
 原口 真 (一般社団法人企業と生物多様性イニシアティブ顧問)
- 監事：梶谷 修 (一般社団法人日本環境アセスメント協会会長)

#### <本発表に関するお問い合わせ先>

一般社団法人いきもの共生事業推進協議会(ABINC)事務局 担当:安齊(アンザイ)/宇野澤(ウノサワ)/山口(ヤマグチ)  
 ※事務局業務取扱い受託 株式会社インターリスク総研  
 e-mail : [info@abinc.or.jp](mailto:info@abinc.or.jp) TEL:070-6457-2261